

ATELIER MUJI GINZA 2022

2022年、ATELIER MUJI GINZAでは6つの展覧会を開催しました。

昨年に引き続き「感じ良い暮らし」の提案のひとつとして、生活にアートを取り入れてほしいというメッセージを込めたLife in Artプロジェクトとして2つの展覧会を開催。『TOKYO MODERNISM 2022 -Modernism Gallery-』では、モダンデザインをアートとして見立てることの愉しさを紹介し、世界中の優れたモダンデザインの魅力を伝えました。『Life in Art フィリップ・ワイズベッカー「HANDMADE ハンドメイド」』展では、アーティスト、フィリップ・ワイズベッカーの作品や本人が制作した生活の道具から生活美学の視点に着目しました。

『リサーチ! プロセスを魅せるデザイン』展ではオランダの「デザイン・アカデミー・アイントホーフェン」(DAE) 出身の3組の作品を通して、新たなデザインの地平線を視覚化。

『Found MUJI 紡いでゆくもの』展や未来を見つめてよいものを提案する試み『探す無印良品 これから』では、無印良品 銀座と協働し Found MUJI の活動を紹介しました。

『MUJI for Public Space 展 - 街をもっと楽しむための100のアイデア-』では、都市や街、地域が抱えている課題に対して新しいアイデアやヒントを生み出す一例を提案。

また、昨年からの巡回の続く「動詞の森『MUJI IS』を携えて 展」と福缶プロジェクトの歩みを伝える『CREATIVE IMAGINATION』展を巡回展として展開しました。

展覧会のほかにも、トークやイベントを通じて、日常の中に豊かさを提案していくこと、ものづくりの思想やヒントに触れる機会を創出してきました。これらの活動を支えてくださったすべての皆さま、ご来場・ご参加いただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。



Illustrated panel with Japanese text and diagrams:

- Top section: 手まり (Hand-made) with a diagram of a hand holding a red circular object with a white star.
- Middle section: 人形 (Doll) with a diagram of a person holding a small object.
- Bottom section: 窓飾り (Window decoration) with a diagram of a window with a figure inside.

6

6

Bookshelf with books and a small display case containing a portrait.

MUJI HOTEL
GINZA

目次

TOKYO MODERNISM 2022 -Modernism Gallery-	9
Life in Art フィリップ・ワイズベッカー「HANDMADE ハンドメイド」展	19
リサーチ！ プロセスを魅せるデザイン 展	29
Found MUJI 紡いでゆくもの 展	39
Found MUJI 探す無印良品	45
探す無印良品 これから	50
MUJI for Public Space 展 - 街をもっと楽しむための 100 のアイデア -	53
巡回展	63
展覧会クレジット・イベント一覧	69
グラフィックデザインで見る展覧会	75

TOKYO MODERNISM 2022
-Modernism Gallery-

TOKYO MODERNISM 2022 -Modernism Gallery-

ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2

2022年2月25日(金) — 4月10日(日)

TOKYO MODERNISM 2022

1940～1960年代のミッドセンチュリー期のモダンデザイン。

その造形や機能美、この時代を生きたデザイナーやものづくりの背景は、
今を生きる私たちの心を捉えて離しません。

この企画では、モダンデザインをアートとして見立てることの愉しみを紹介します。

会場となるのは、IDÉE TOKYO・ATELIER MUJI GINZA・MUJI HOTEL GINZA。

東京の中心から、世界中の優れたモダンデザインの魅力をお伝えします。

Life in Art 公式ウェブサイト

<https://www.ideoe-lifeinart.com/>



Modernism Gallery

日本各地にお店を構える1940～1960年代を中心としたモダンデザインの素晴らしさを伝えるギャラリーやショップ。日頃モダンデザインと向き合う彼らが影響を受けた「逸品」を、その想いとともてATELIER MUJI GINZAで紹介しました。



Modernism Auction

愛着をもって使ってきたものをその思いとともに次に繋げるオークション企画。2回目となる今回のテーマは"Chair"。無印良品やイデーと縁のあるクリエイターやアーティストたちの個性豊かな椅子がIDÉE TOKYOに揃いました。



Modernism Show

Modernism Galleryで「逸品」を紹介している約30のヴィンテージギャラリーやショップがMUJI HOTEL GINZAの客室に一堂にお店を構えました。世界中のモダンデザインを愉しみながらお買い物ができる特別なひとときをお過ごしいただきました。



Modernism Gallery



Modernism Auction



Modernism Show

**TOKYO
MODERNISM
·2022·
Modernism Gallery**



TOKYO
MODERNISM
2022
Modernism Gallery
2022.2.25 fri - 4.10 sun





Life in Art
フィリップ・ワイズベッカー
「HANDMADE ハンドメイド」展

Life in Art

フィリップ・ワイズベッカー

「HANDMADE ハンドメイド」展

ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2

2022年4月22日(金) — 6月26日(日)

ホモ・ファーベル/生活美学の視点

株式会社良品計画は日常芸術をテーマにアート(=文化)を広げるアートプロジェクト Life in Artにおいて、パリを拠点に活動するアーティスト、フィリップ・ワイズベッカーの展覧会を開催いたします。

私たちは、衣食住において日常生活に必要なくらしの基本をお店から提供するだけでなく、アート作品の販売や自社のプロモーションなどアーティストやクリエイターの方々にご協力いただきながら「感じ良いくらし」の探究を続けています。その中でもフィリップ・ワイズベッカーとはMUJI Forum des Halles (欧州旗艦店)やイベントなどこれまで様々な企画でコラボレーションしてきました。

フィリップ・ワイズベッカーは1942年生まれ、日常の身近なモチーフ、平面的でありながらも不思議な立体感のある独特なパース、淡くあたたかみのある線の表情など、自身の目線から生み出す素朴に描かれた絵が多くの人を魅了しています。また、本人の自宅やアトリエにある家具のほとんどは自身で設計、制作、塗装をしています。

本展は身近な暮らしの中にあるものをモチーフに描いたドローイング作品や本人が制作した生活の道具、アトリエで収録した映像で構成しています。自身の内面にある発想を自由に表現し生活環境を構築していく、そんな彼の生活美学の視点を感じ、日々の暮らしをゆたかに愉しむきっかけを見つけてください。

ATELIER MUJI GINZA

およそ100年前に海を渡ってニューイングランドにやってきた移民たちが使っていたであろう椅子や家具。スタイルや職人技にはこだわらず、最小限の材料で、素早く作れて、頑丈。そんなところが好きだった。

自分でも似たようなものが作れる気がした。初歩的な道具だけで夢中になって作っては、アトリエの室内を少しずつ自作の家具で置き替えていった。ベーシックで気取らない家具は、すぐに気に入った。友人や家族からは、座り心地が悪いと批判されても、それでも自分らしく思えて、いまでも飽きずに使っている。なにしろ見ていて美しいのだ。わたしにとっては目に映るものが一番たいせつで、その他は我慢するしかない。いまでも、必要に合わせて作り続けている。作り方はきわめて簡単だ。木材、ネジ、接着剤、それからクランプと穴あけドリル、これで準備完了。やっかいなのは塗装の工程。まず穴を埋め、ヤスリをかけて、1度目を塗る。乾燥したら再びヤスリをかけて、2度目を塗らなければならない。塗装のペンキは、いつもグレーを使っている。グレーはもともと好きな色で、流行がなく、重みがあり、落ち着かせてくれる。黒でも白でもないところが、迷いの絶えない自分には、よく似合っている。幸いなことに、塗りの欠点も目立ちにくい。

いま、わたしの一番の願いは、なにも置かずなにも入れない裸の状態で、デッサン作品と同じように、自作の家具を並べて展示することだ。

フィリップ・ワイズベッカー

(フィリップ・ワイズベッカー著「ホモ・ファーベル」発行：図書印刷 BON BOOK / 発売：無印良品 MUJI BOOKSより一部抜粋)



フィリップ・ワイズベッカー

1942年、フランス生まれ。パリのフランス国立高等装飾美術学校を卒業し、1968年にニューヨーク移住。アメリカの広告やエディトリアルイラストレーションを数多く手がけながら、アートワークも制作。

2006年、フランスに帰国。日本との縁は深く、2000年にクリエイションギャラリー G8で初個展。2002年、アンスティチュ・フランセ日本が運営するアーティ スト・イン・レジデンスで京都のヴィラ九条山に4か月間滞在。2021年には公益財団法人 竹中大工道具館で個展を開催。東京オリンピック 2020 の公式アートポスターも手がけた。現在はパリを拠点に活動し、欧米や日本で作品の発表を続けている。



書誌名「ホモ・ファーベル」

著者名 | フィリップ・ワイズベッカー

価格 | 3,300円(消費税込)

ISBN | 978-4-910462-03-5

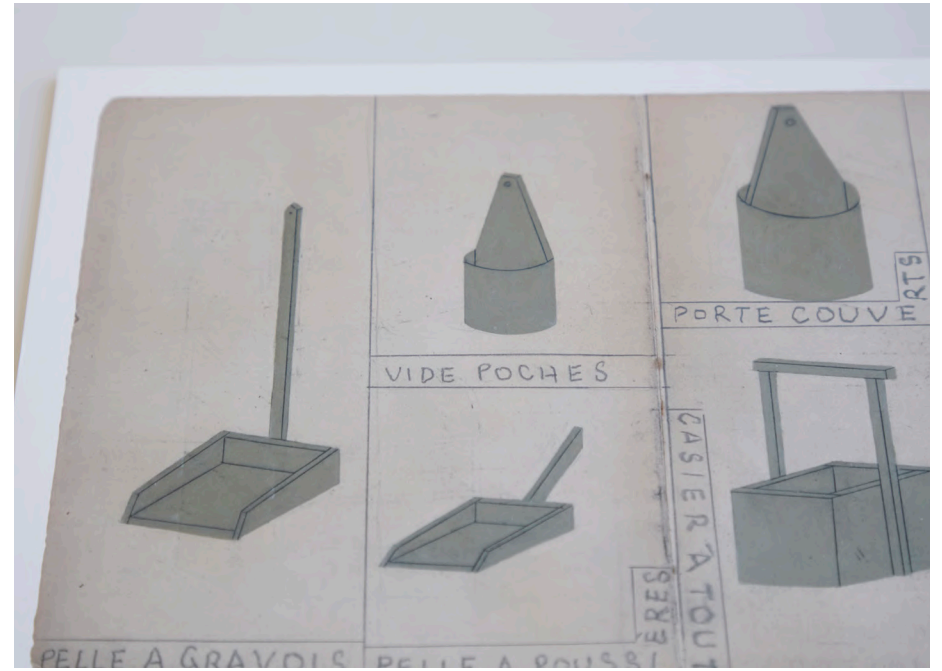
発行元 | 図書印刷株式会社 BON BOOK

*2022年4月22日(金)より無印良品 銀座で先行販売。5月1日(日)より全国のMUJI BOOKSで販売中。

Philippe Weisbecker HANDMADE







リサーチ！ プロセスを魅せるデザイン 展

リサーチ! プロセスを魅せるデザイン展

ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2

2022年7月21日(金) — 9月4日(日)

生活を取り巻くあなたのものたち。その物が並び売られるテーブルを覗きながら私たちは、好きなもの、美しいもの、便利なものなど、使い手の視点からものを選び生活に採り入れています。でももし、一つ一つのもものが、その背景にあるリサーチとプロセスを語りはじめたら? 私たちは何に気づき、生活はどのように変わるのでしょうか?

オランダ、アイントホーフェンにある「デザイン・アカデミー・アイントホーフェン」(DAE)は、従来の「デザイン」の概念を覆す現代的コンセプトと思考方法を育むユニークなプログラムで知られるデザイン教育機関です。これまでのモノづくりの流れに大きな変化をもたらすクリエイターたちを世に送り出し注目を集めています。では、その新しい「デザイン」とはいったいどのようなものなのでしょう?

本展では、リサーチをかたちにする先駆的な作家として知られる、クリスティン・メンデルツマをはじめ、今、国際的な注目を集める若手、シモン・バジェン・ボテロ、簗島さとみ+ポリン・アグストーニ、DAE出身の3組の作品を通して、新たなデザインの地平線を視覚化します。彼らに共通するのは、現代にさらにものを生み出すことへの根本的な問い、徹底したリサーチ、そしてプロセスそのものまでも作品とする手法です。3組それぞれのリサーチとプロセスで魅せる作品は、私たちの好奇心を「もの」の背景にある物事へと向かわせ、これまでシンプルな「使い手」として見てきた日常的なものの風景や感性、美の意識までを一変させる力を持っているのではないのでしょうか。

ATELIER MUJI GINZA



Photo: Vincent Mentzel

クリスティン・メンデルツマ (オランダ)

ローカルな資源と生産へのこだわり、また工業化によって遠ざかったプロセスを徹底したリサーチと記録で明らかにする作品を発表し、デザイン界に衝撃を与えたメンデルツマ。本展では、彼女の名を知らしめた2冊の本と椅子のプロジェクトを紹介する。ロッテルダム (オランダ) を拠点に活動。

公式 WEB サイト: <https://christienmeindertsma.com/>

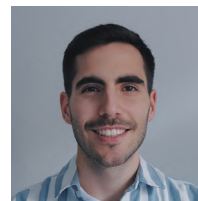


簗島さとみ (1989、日本) / ポリン・アグストーニ (1996、スイス)

2人はDAE在学中に出会い、その後共同で、奄美大島の伝統工芸である泥染めの現地リサーチと体験を経てかたちにしたインスタレーションが 'Craft Portrait: Dorozome' である。簗島はアイントホーフェン(オランダ)、アグストーニはベルリン(ドイツ)を拠点に活動。現在 'Craft Portrait' 2 作目を製作中。

簗島さとみ公式 WEB サイト: www.satomiminishima.com

ポリン・アグストーニ公式 WEB サイト: www.paulineagostoni.com



シモン・バジェン・ボテロ (1992、コロンビア)

デザインを議論やエンパワーメントのツールとして用い、プロジェクトごとに異なる職人、技術者、コミュニティと協働するバジェンが、コロンビアの金鋸の廃材を再利用しガラスのオブジェを生み出した持続可能なプロジェクトが 'Suelo Orfebre'。アムステルダム (オランダ) とメデリン (コロンビア) を拠点に活動。

公式 WEB サイト: <https://www.simonballen.com/>



吉行良平

DAEを卒業後オランダでのデザイン事務所を経て、大阪に「吉行良平と仕事」を設立。日用品の設計を中心に、手を動かし実験、検証を重ね、あるべき色、形を探る。
※ DAE 卒業の出展者と共にトークイベントにも参加。

公式 WEB サイト: <http://www.ry-to-job.com/>



シモン・バジェン・ボテロ
Simón Ballen Botero

クリスティン・メンデルツマ
Christien Meindertsma

クリスティン・メンデルツマ
Christien Meindertsma



リサーチ! プロセスを魅せるデザイン展

Research! Design with Fascinating Processes



調査と制作のシステム
System: Research - Production System

調査と制作のシステム
System: Research - Production System





Found MUJI 紡いでゆくもの 展

ATELIER MUJI GINZA Gallery2

2022年9月9日(金) — 9月18日(日)

無印良品は世界各地を巡り、それぞれの土地に根付く伝統や風習から生まれた日用品の道具を探す旅を続けています。

旅の途中で出会う人々や風景の積み重ねはこの活動のこれまでとこれからを紡いでゆくものであり、私たちを原点、新しい可能性へと導く大切な記録です。

本展では私たちが長年アーカイブし続けてきた膨大な数の写真から、潜在的に存在する Found MUJI の思想、視点をご覧ください。

Found MUJIとは

無印良品は世界各地を巡り、それぞれの土地に根付く伝統や風習から生まれた日用品の道具を探す旅を続けています。

2003年からは、この活動を「Found MUJI (見出された MUJI)」と名付け、さらに世界の細部にまで入り込みながらよいものを探す旅をはじめました。見出されたモノたちの中には、そのままの品質ではわたしたちの生活に入りにくいものもあります。それらを今の生活の品質基準に合わせて、作者と対話しながら改良し、無印良品のものとして仕立て直します。

よいものを探す目を磨き、そのもののエッセンスを残しつつ、それらを現代の生活に合わせてさらによくしていく。

Found MUJI は、無印良品と皆様と一緒に進む活動です。





Found MUJI

見つけてみる

Found MUJI 見つけてみる

「Found MUJI 見つけてみる」は、MUJIの製品の中から、海外で発見された「Found MUJI」の製品を紹介する展覧会です。展示は、MUJIの製品の中から、海外で発見された「Found MUJI」の製品を紹介する展覧会です。展示は、MUJIの製品の中から、海外で発見された「Found MUJI」の製品を紹介する展覧会です。

Found MUJI 見つけてみる
2022.09.09 - 09.18

Found MUJI 探す無印良品

無印良品銀座

2022年9月9日(金) — 11月27日(日)

Found MUJI は、「つくる」ではなく「探す、見つけ出す」無印良品です。これまで30を超える国や地域を旅し、その土地々々の文化や習慣が色濃く反映された日用品を探してきました。地域特有の食材を使った料理、その料理をつくるための道具、その土地で取れた植物で染められた服など、どれも日常の生活そのものなのです。私たちが日常当たり前に行っていることや何も意識しないまま使っているものは、異なる土地の人から見れば新鮮に映ることがあります。一方で、遠く離れた地で私たちの風習に近い事物に触れることも、またあります。真新しい心持ちで改めて周りを見てみましょう。Found MUJI では、「探す、見つけ出す」ときに大切にしている言葉があります。

簡素が豪華に引け目を感じることなく、その簡素の中に秘めた知性なり感性なりがむしろ誇りに思える世界、そういった価値体系を掘めることができれば、少ない資源で生活を豊かにすることができます。

田中一光

© Ikko Tanaka / distributed by DNPartcom

何か新しいものを初めて見つけることではなく、古いもの、古くから知られていたもの、あるいは誰の目にもふれていたが見逃されていたものを新しいもののように見出すことが、真に独創的なことである。

フリードリヒ・ニーチェ

今回、無印良品銀座の店内様々な場所で、Found MUJI が探してきたアイテムを販売いたします。館内をあちこち巡り、あなたにとってのFound MUJIを探してみませんか。



Found MUJI とは

永く、すたれることなく生かされてきた日用品を、世界中から探し出し、それを生活や文化、習慣の変化に合わせて少しか改良し、適正な価格で再生する。良いものを探す目を磨き、そのもののエッセンスを残しつつ、それらを現代の生活に合わせて仕立て直していく活動です。





探す無印良品 これから

ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2

2022年9月9日(金) — 11月27日(日)

無印良品の目でものを探す活動を「Found MUJI (見出された MUJI)」と名付け、これまで20年にわたり30を超える国や地域を旅し、世界の細部にまで入り込んできました。しかしながら、この活動を続ける環境は、近年目まぐるしく変化しています。移動が制限され、人と人とのコミュニケーションも様変わりしてきています。

このような状況のなか、改めて私たちが訪ねて行くことができる範囲のものづくりに目を向け、じっくりと向き合うと、今そしてこれからのものの有りようが様々なかたちで見えてきました。これまでの知恵や技術を従来とは異なる視点で活用したり、小さなコミュニティで材料を循環したり、自分達の行える範囲で無理無駄なく行いながら、ものづくりは続いています。大きな変化に抗うのではなく、知恵や技術で工夫しながら続いていくものづくり。ものを通じて得る気づきは変わらず少なくありません。是非、手に取って、使って、感じてみてください。

無印良品を見出す旅は、これからも続きます。



MUJI for Public Space 展
- 街をもっと楽しむための100のアイデア -

MUJI for Public Space 展 - 街をもっと楽しむための100のアイデア -

ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2

2022年12月2日(金) — 2023年1月29日(日)

ATELIER MUJI GINZAでは建築家・元木大輔率いるDDAA LABと『MUJI for Public Space展』を開催いたします。DDAAは建築、都市計画、ランドスケープ、インテリア、プロダクト、コンセプトメイキングなどの様々な分野で活動している建築・デザイン事務所です。DDAA LABを組織し、建築的な思考を軸に、実験的なデザインとリサーチも行っています。

無印良品は今、第二創業を掲げ生活の専門店から日常生活の基本を支える生活のインフラへと動き出し、地方への店舗拡大を図りながら各地域が抱える問題や課題に対しても取り組みを進めています。今回、DDAA LABとの企画では個と公の関係性について改めて目を向け、都市や街、地域が抱えている課題に対して新しいアイデアやヒントを生み出す一例を作っていきたいと考えています。

公共を享受するという視座

私たちの日常には常に公共という存在が隣接していて、他者との繋がりはそれを共有して広に広がっています。公共空間は不特定多数が介在するため規制や制度、政策などルールや境界が決められており、デザインや暗黙的な制約によってその場が形成されています。公共空間が持つ独特な空気感は密接な存在の環境を神経質なものに変容させ、本来そこに生まれる創造的な発想はしばしば消極的なものになりがちではないでしょうか。

本展で紹介するものは、公共を提供してもらうものではなく、自らが参加して考える「享受する」という既存意識を転換した新しい公共のある世界です。

ATELIER MUJI GINZA

私たちDDAAの研究機関であるDDAA LABの興味とステートメントの1つに「完成しないデザイン」というものがあります。優れたソフトウェアプロジェクトのように、常に解体され、再設計され、アップデートできるプロダクトや空間をデザインできないか、という問いです。そのためには、目の前の完成されているように見えるプロダクトを、「素材」つまり編集可能な対象として再認識する必要があります。無印良品のプロダクトや目の前に広がる街を、完成品でなく、どんどん変化し主体的に使いこなす素材であると捉え直すことはできないでしょうか。

MUJI for Public Spaceは、このようなまなざしを軸に、いくつかの銀座の具体的な場所を舞台に、おもに無印良品のシンプルかつ規格化されたデザイン、さらに日本中で手に入れることができるという製品の利点を利用することで、街に多様性を簡単にもたらし、楽しむための、100種類のアイデア集です。ここでは街路樹がレストランに、終電後のメトロの入り口階段が劇場に。さらには使われていない公衆電話がバーやコワーキングスペースに、パーキングがポップアップショップに、歩行者天国がビーチや陸上競技場に変化します。

ものから街までを編集可能な素材だと捉え直す視点があれば、ものも街もどんどん変化するし、完成という概念ではなく「成長」するものと捉え直すことができるかもしれません。自分たちで手を加えることで、ものから街までより愛情を持って接することにつながるきっかけになれば嬉しいと思います。

元木 大輔 / DDAA LAB



DDAA

建築、都市計画、ランドスケープ、インテリア、プロダクト、コンセプトメイキングなどの様々な分野で活動している建築・デザイン事務所です。

DDAA LAB

建築的な思考を軸に、社会性のある実験的なデザインとリサーチを行う組織です。



©HIROMICHI UCHIDA

元木大輔

DDAA/DDAA LAB代表。CEKAI所属。Mistletoe Community。シェアスペースhappa運営。東京藝術大学非常勤講師。

1981年埼玉県生まれ。2004年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、スキーマ建築計画勤務。2010年DDAA設立。2019年、コレクティブ・インパクト・コミュニティーを標榜し、スタートアップの支援を行うMistletoeと共に、実験的なデザインとリサーチのための組織DDAA LABを設立。2021年第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展参加。

公式WEBサイト：<https://dskmtg.com>



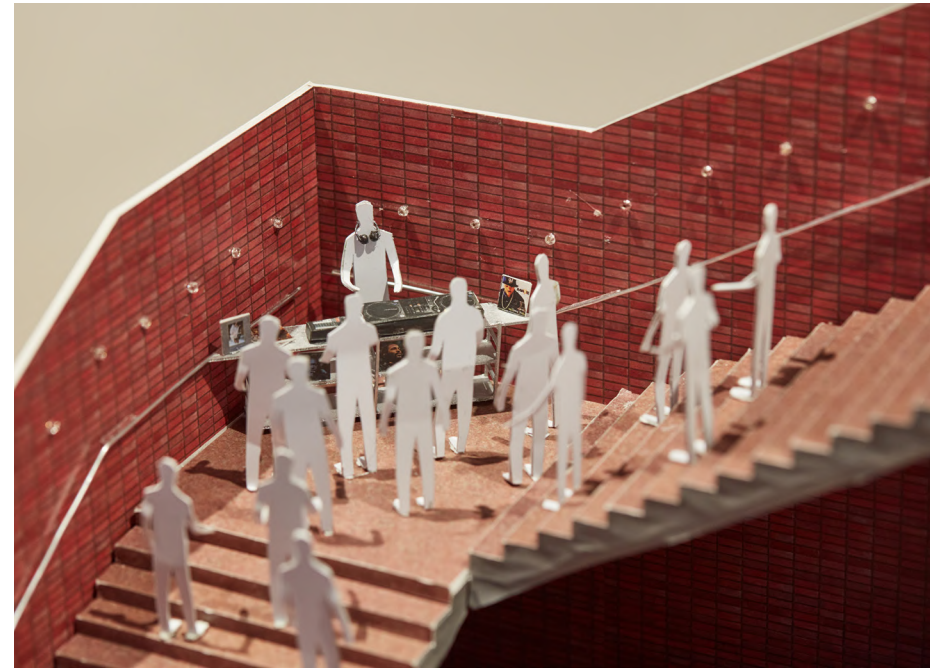
ユニットシェルフ屋台・フラワーショップ

MIT for Public Space 展

街をもっと楽しむための100のアイデア







動詞の森 『MUJI IS』を携えて展

2020年無印良品40周年を記念して出版された書籍『MUJI IS 無印良品アーカイブ』。無印良品の一品一品がどういった思いで作られたかを「15の動詞」で整理した本書と連動し、15の動詞とともに商品や活動を紹介しました。

[巡回先一覧]

シンガポール

2022年6月15日(水) — 7月27日(水)

ジャパンクリエイティブセンター(JCC) 在シンガポール日本国大使館・展示室1

主催 | 株式会社良品計画

共催 | ジャパン クリエイティブ センター

企画協力 | 暮らしの良品研究所

空間構成 | トラフ建築設計事務所

グラフィックデザイン | 倉地亜紀子

展示什器制作 | 東京スタジオ

キュレーション | 鈴木潤子

マレーシア

2022年9月14日(水) — 10月2日(日)

TOY8 Playground

主催 | MUJI (MALAYSIA) SDN BHD

企画協力 | 暮らしの良品研究所

空間構成 | トラフ建築設計事務所

グラフィックデザイン | 倉地亜紀子

展示什器制作 | 東京スタジオ

キュレーション | 鈴木潤子



<シンガポール>ジャパンクリエイティブセンター(JCC) 在シンガポール日本国大使館



<マレーシア> TOY8 Playground

CREATIVE IMAGINATION 展 無印良品と縁起物

無印良品では、2011年から地域に根付いた郷土玩具の面白さを多くの方へ届けるために、日本の縁起物として福缶に入れて紹介してきました。

2021年 ATELIER MUJI GINZA にて開催の『CREATIVE IMAGINATION』展が新作の4コマ漫画を携えて大阪へ巡回いたしました。

ただ消費されていくだけではない、シンプルでピュアな原動力に未来のものづくりへの可能性やヒントを発見する展覧会となりました。

[巡回先一覧]

2022年11月26日(土) — 2023年1月15日(日)

無印良品 グランフロント大阪 Open MUJI & 店内

主催 | 株式会社良品計画

展示品協力 | 白河だるま総本舗、鈴幸人形店、おぼこ屋、栄拓産業、近江だるま保存会、有限会社丹嘉、土田人形、大阪張り子工房峯商店、瓦猿、おぐら屋、株式会社ようび、玉島だるま虎製造所、張子工房ウスイ、ヤチコダルマ、のごみ人形工房、しもうら弁天会、宮原工芸、豊泉堂、帖佐人形窯元、佐土原人形ますや(都道府県順)

制作協力 | 川崎富美、武田道生、HIGURE 17-15cas、株式会社 torinoko

Special thanks | 福缶に関わって下さった全ての皆様

福缶のはじまり

福缶は 2012 年の正月にスタートし、震災復興の東北を応援したいという想いも込めて、東北 4 県(青森、岩手、宮城、福島)の縁起物 14 種類を缶詰にして販売しました。その後も継続的に東北を応援しながら、地域に根付いた郷土玩具の面白さをより多くのお客さまへお届けするために、幅広く日本の縁起物を紹介してきました。



書誌名『郷土玩具コミック -つくり手たちの想い-』

企画構成 | 福缶プロジェクトチーム

価格 | 1,100円(税込価格)

ISBN | 978-4-909098-40-5

発行 | 株式会社良品計画

*12月23日(金)より、無印良品 無印良品グランフロント大阪で先行販売。
12月29日(木)より、全国のMUJI BOOKSで販売中。



TOKYO MODERNISM 2022 -Modernism Gallery-

会期 | 2022年2月25日(金)ー4月10日(日)
会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2 入場無料
主催 | 株式会社良品計画
企画協力 | 中原慎一郎 (ランドスケープ・プロダクツ
ファウンダー)、郷古隆洋 (Swimsuit Department
代表) 会場テキスト協力 | 土田貴宏

Life in Art フィリップ・ワイズベッカー 「HANDMADE ハンドメイド」展

会期 | 2022年4月22日(金)ー6月26日(日)
会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2 入場無料
主催 | 株式会社良品計画
企画協力 | 貴田奈津子 (Bureau Kida)、藤城成貴
施工 | HIGURE 17-15 cas
写真 | 宮本敏明
グラフィックデザイン | 東川裕子
後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ
日本、ヴィラ丸条山
協力 | 榎田理 (株式会社 EDITHON)、図書印刷株式
会社

フィリップ・ワイズベッカー「HANDMADE」展 トークイベント

フランス・パリにいるフィリップ・ワイズベッカーさんとリ
モートで繋ぎ、本展開催のきっかけになった書籍『ホモ・
ファーベル』の企画、編集をされている榎田理さんと特
別協力されている葛西薫さんをお招きして Instagram に
てトークイベントを開催。新しく出版される書籍の話から
新作のドローイング、自身で制作した立体作品への思い
など、展覧会にまつわるお話を伺いました。

開催日時：2022年4月21日(木) 19:00-20:00
登壇者：フィリップ・ワイズベッカー * フランスからリモート
参加、葛西薫 (アートディレクター)、榎田理 (編集 / 株
式会社 EDITHON 代表)
モデレーター：永田貴大 (株式会社良品計画 企画デザ

イン室 ディレクション課)
視聴 URL : [https://www.instagram.com/tv/
CcnHoRSqKXs/](https://www.instagram.com/tv/CcnHoRSqKXs/)

ギャラリートーク

『Life in Art フィリップ・ワイズベッカー

「HANDMADE ハンドメイド」展』

オンラインでお楽しみいただけるオンラインギャラリートーク。
書籍『ホモ・ファーベル』、本展映像を撮影したカ
メラマンの宮本敏明さんをお迎えて、本展キュレーター
と一緒に本展覧会についてお話ししました。

開催日時：2022年6月2日(木) 20:00-20:30
登壇者：宮本敏明 (カメラマン)
モデレーター：永田貴大 (株式会社良品計画 企画デザ
イン室 ディレクション課)
視聴 URL : [https://www.instagram.com/tv/
CeTSwm5q-Sr/](https://www.instagram.com/tv/CeTSwm5q-Sr/)

フィリップ・ワイズベッカー「HANDMADE」展 インタビュームービー

フィリップ・ワイズベッカー「HANDMADE」展』会
場で展示していた動画のアーカイブ映像です。

アーカイブ映像一覧
#1 : <https://youtu.be/idfNwly18Vc>
#2 : <https://youtu.be/NLEepQqe8-s>
#3 : <https://youtu.be/XiRJR4GrN5o>
#4 : <https://youtu.be/22tFedspOHo>

トーク『FRAGILE BOOKS のはなし』

FRAGILE BOOKS ポップアップストアは、Gallery で
開催中の企画に合わせセレクトが変わる期間限定の本
屋。選書をしていただいている FRAGILE BOOKS 榎田
理さんにブックプロジェクトや本展でセレクトした書籍につ
いてお話を伺いました。

開催日時：2022年6月15日(水) 20:00-20:30
登壇者：榎田理 (編集者 / FRAGILE BOOKS 主宰)
モデレーター：永田貴大 (株式会社良品計画 企画デザ
イン室 ディレクション課)
* アーカイブ配信はなし

リサーチ!プロセスを魅せるデザイン展

会期 | 2022年7月1日(金)ー9月4日(日)
会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA
Gallery1・2 入場無料
主催 | 株式会社良品計画
協力 | オランダ王国大使館、デザイン・アカデミー・アイ
ントホーフエン、KANAIKOUGEI
イラストレーション | 簗島さとみ
グラフィックデザイン | 株式会社 SARAVAH design
空間構成 | 吉行良平
施工 | HIGURE 17-15 cas
キュレーション | 田代かおる

オンライントークイベント『オランダと日本をつなぐ、 これからのデザインのはなし。』

本展で出展する3組のデザイナーの出身校く Design
Academy Eindhoven (DAE) >は、独自のデザイン
教育で世界的に注目されるオランダの芸術教育機関。
DAE の先進性とは何なのか? 従来のデザインスクール
とは何が違うのか? これからのデザイン・建築のビジ
ョン、そして教育について、自身のプロジェクトの話題を交
えて語り合っていました。

開催日時：2022年7月11日(月) 19:00-
登壇者：深澤直人 (デザイナー、多摩美術大学 統合デ
ザイン学科長・教授)、ジョセフ・グリマ (建築家、DAE
Creative Director)
視聴 URL : <https://youtu.be/Pqs5VbHKRJY>

オンライントーク『FRAGILE BOOKS のはなし 〜リサーチ! プロセスを魅せるデザイン展の場合 Vol.1』

FRAGILE BOOKS の選書を監修している FRAGILE
BOOKS の榎田理さんをお招きし、本展のためにセレクト
した本について、詳しくお話を伺いました。

開催日時：2022年7月13日(水) 20:00-20:30
登壇者：榎田理 (編集者 / FRAGILE BOOKS 主宰)
モデレーター：田代かおる (ライター、本展キュレーター)
* アーカイブ配信はなし

オンライントーク『FRAGILE BOOKS のはなし〜
リサーチ! プロセスを魅せるデザイン展の場合
Vol.2』
FRAGILE BOOKS の榎田理さんに、『Checked
Baggage』第2版を出版したばかりのブックショップ
POST の中島祐介さんが加わり、その出版の逸話や、オ
ランダのブックデザインについてお聞きしました。

開催日時：2022年7月28日(木) 20:00-
登壇者：榎田理 (編集者 / FRAGILE BOOKS 主宰)、
中島佑介 (アートブックショップ POST 代表)
モデレーター：田代かおる (ライター、本展キュレーター)
視 聴 URL : [https://www.instagram.com/tv/
CgjiRFgKP0m/](https://www.instagram.com/tv/CgjiRFgKP0m/)

トーク「コロンビアのローカリティを形にする」
コロンビアの鉱山から出る膨大な廃棄物、どこにでも転
がっている身近なマテリアル、そしてコミュニティの人々
との協働によって、いかにして美しいガラスのプロダクトは
生み出されたのか? 母国コロンビアとオランダを拠点に活
躍する若手デザイナー、シモン・バジェンが、日本初出展
となる「Suelo Orfebre (スエロ・オルフェブレ)」のプ
ロジェクトについて、現在の取り組みについて語りました。

開催日時：2022年8月2日(火) 19:00-20:30
登壇者：シモン・バジェン・ポテロ
モデレーター：田代かおる (ライター、本展キュレーター)
参加人数：20名
視聴 URL : <https://youtu.be/x9TdHTuRuFU>

トーク
「Design Academy Eindhoven その驚きの講義」
今回の出展者に共通すること、それはオランダの芸術教
育機関 Design Academy Eindhoven (DAE) で学
んだ経験。徹底したリサーチ力によって、現代デザインの
新たな問いと答えを視覚化するクリエイターを次々と排
出してきたアカデミーの講義とはどのようなものなのでしょう?
4人のデザイナーが彼らの実体験を語りました。

開催日時：2022年8月3日(水) 19:00-
登壇者：簗島さとみ、ボリン・アグストーニ、シモン・バジェン・
ポテロ、吉行良平

モデレーター：土田貴宏（ライター／デザインジャーナリスト）

参加人数：20名

視聴 URL：https://youtu.be/19WpvNVNtho

トーク「色の地層 DOROZOME の世界」

「Craft Portrait」は、大島紬の「黒」で知られる奄美大島の伝統工芸「泥染め」のプロセスを作品にしたインスタレーション。85回以上もの染めを重ねて「黒」に到達する泥染めの奥深い世界について、またその魅力について、自然の原料にこだわった泥染めを行う歴史ある工房 KANAIKOUGEI の金井志人さんとデザイナー二人が語り合いました。

開催日時：2022年8月4日（木）19:00-20:30

登壇者：簗島さとみ + ポリン・アグストニ、金井志人（金井工芸）

モデレーター：土田貴宏（ライター／デザインジャーナリスト）

参加人数：20名

視聴 URL：https://youtu.be/aRP0uVclSr4

クリスティン・メンデルツマ

トーク「リサーチをめぐるものがたり」

展示会ではクリスティン・メンデルツマの徹底したリサーチがかたちになった3作品を展示しました。その一つが、3年を費やして、一頭の豚から生産される製品についてくまなく調べ上げ、その結果をまとめた書籍「PIG 04059」。彼女の興味は、私たちを取り巻くあらゆる物質文化へ向けられ、マテリアルやモノの背後にあって見えてこなかったリアリティを視覚化します。そのリサーチ力と情熱はどこからもたらされるのでしょうか？そしてリサーチを突き詰めると、どのようなモノづくりの景色が見えてくるのでしょうか？彼女の初期作品から現代まで。リサーチの世界について語り合いました。

開催日時：2022年8月25日（木）19:00-20:30

登壇者：クリスティン・メンデルツマ

聞き手：田代かおる（本展キュレーター）

協力：オランダ王国大使館

参加人数：25名

視聴 URL：https://youtu.be/e8BEIR9SV3M

Found MUJI 紡いでゆくもの展

会期 | 2022年9月9日（金）— 9月18日（日）

会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Gallery2 入場無料

主催 | 株式会社良品計画

Found MUJI 探す無印良品

会期 | 2022年9月9日（金）— 11月27日（日）

会場 | 無印良品 銀座

主催 | 株式会社良品計画

企画協力 | 南雲浩二郎、須藤玲子、作原文子、株式会社にしき食品（順不同）

グラフィックデザイン | 株式会社 SARAVAH design

施工 | HIGURE 17-15 cas

企画・運営 | 株式会社良品計画

釜浅商店 熊澤大介に聞く 道具を愛用するコツ

釜浅商店 熊澤大介が道具を永く愛用するコツや育て方、また道具の選び方や関わり方について語りました。トークイベントの後はゲストを囲み、Barタイムをお楽しみいただきました。

開催日時：2022年9月9日（金）19:00-20:00

登壇者：熊澤大介

参加人数：20名

探す無印良品 これから

会期 | 2022年9月23日（金）— 11月27日（日）

会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Gallery1・2 入場無料

主催 | 株式会社良品計画

企画協力 | 南雲浩二郎

グラフィックデザイン | 株式会社 SARAVAH design

施工 | HIGURE 17-15 cas

企画・運営 | 株式会社良品計画

ライブイベント『背景の音』

生楽器の演奏とプログラミングを織り交ぜた、有機的な電子音楽を制作する宮内優里さん。日の高い時間から夕方にかけて、ATELIER MUJI GINZA でBGMを奏めました。音を探し、見つけた音で音楽を紡ぐ。その時々を感じ、音で満たす。生演奏だからこそできる、その時の音楽を感じていただきました。

開催日時：2022年10月22日（土）12:00-18:00

ゲスト：宮内優里

トーク『始まり』と『価値』

会場空間を一緒に手掛けたクリエイティブディレクターの南雲浩二郎さんは、デザイン、ファッション、アート他分野を跨いで活動を広げており、興味の先は幾重にも向いています。今回、旧知の仲である東京・富ヶ谷のワインバー『アヒルストア』店主 齊藤輝彦さんと【ことやものの『始まり』と『価値』】について、独自の目線でお話をいただきました。

開催日時：2022年10月30日（日）16:00-18:00

ゲスト：南雲浩二郎（ビームス ディレクターズバンク クリエイティブディレクター）、齊藤輝彦（『アヒルストア』店主）、柿本真希（編集・ライター・ディレクター）

福田織物 ポップアップストア

オリジナルのコットン生地やリネン生地、コーデロイ生地、草木染めなどにおすすめの白生地などイベント限定で販売しました。

開催日時：2022年11月5日（土）11:00-18:00

出店者：福田織物

『荒物のある日常とこれから』& はたきづくりワークショップ

「暮らしの道具 松野屋」を営む松野弘さん、きぬ子さん夫妻。荒物と呼ばれる日用品を求め日本全国を巡り、探してきた道具を東京下町のお店で紹介、販売。その素朴でアノニマスな荒物も、現在は“絶滅危惧種”になってしまっていると言います。荒物が作られている現場では何が起きているのでしょうか。一方で、荒物を使った日常とは、どんな生活でしょう。暮らしの道具を使いつくしている松野さんの毎日の知恵を伺いながら、最後にみなさんとはたきを作りました。

開催日時：2022年11月12日（土）16:30-18:30

講師：松野弘（「暮らしの道具 松野屋」店主、松野きぬ子（「暮らしの道具 松野屋」）

モデレーター：渡辺尚子（編集者・ライター）

MUJI for Public Space 展 -街をもっと楽しむための100のアイデア-

会期 | 2022年12月2日(金) — 2023年1月29日(日)

会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA

Gallery1・2 入場無料

主催 | 株式会社良品計画

企画協力・空間構成 | DDAA LAB

グラフィックデザイン | Company 2、石曉君

会場音楽 | 蓮沼 執太 / 協力: Siin Siin、岡崎 智弘

オープニングトーク

『MUJI For Public Space』展

-街をもっと楽しむための100のアイデア-

本展企画協力の建築家、元木大輔さんをお招きしトークイベントを開催しました。第一部では、元木さんのデザイン思考、公共空間をデザインすること、街を楽しむアイデアなど、展覧会にまつわるお話を伺います。第二部では、「マチとヒトとモノ」をつなぐ、をテーマに活動されている「銀座ひと繋ぎプロジェクト」代表の齋藤大地さんといっしょに、銀座の街をさらに楽しむアイデアの具体的な実現を目指し、トークを展開しました。

開催日時: 2022年12月2日(金) 19:00-21:00

ゲスト: 元木 大輔さん (本展企画協力 / 建築家)、齋藤 大地さん (銀座ものひと繋ぎプロジェクト 代表)

参加人数: 30名

イベント『パブリックシネマ』

『MUJI for Public Space』展では街をもっと楽しむためのアイデアを展示。100のアイデアの中から実現化を試み、今回は銀座の路地裏を舞台に一夜限りのパブリックシネマをオープンしました。当日は、銀座『木挽町よしや』さんのおしるこもお楽しみいただきました。

開催日時: 2023年1月21日(土) 18:00-21:00

上映作品: 『東京行進曲』(1929年 / 監督: 溝口健二 / 白黒無声・字幕)

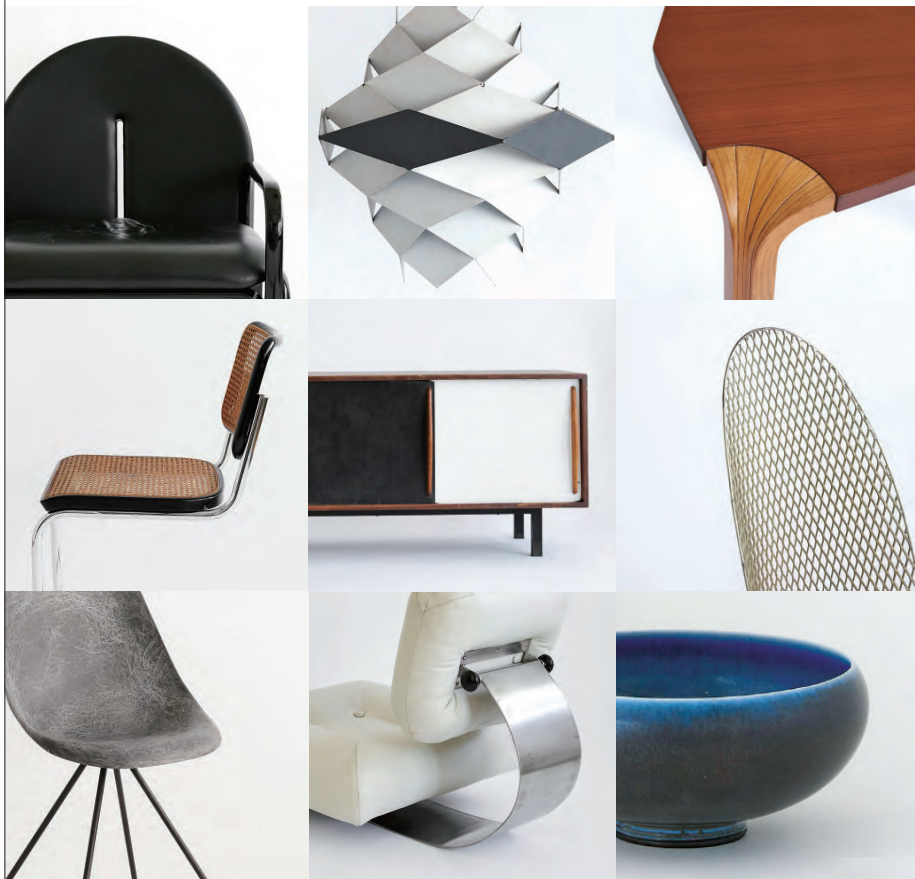
会場: 銀座『木挽町よしや』前

空間構成: 元木大輔 (本展企画協力 / 建築家)

TOKYO MODERNISM ・2022・

2022.2.25 fri - 4.10 sun

Life in Art



Life in Art

Philippe Weisbecker HANDMADE ハンドメイド展



2022.04.22 FRI — 06.26 SUN

11:00 - 21:00 無印良品 銀座 6F
ATELIER MUJI GINZA Gallery 1・2
入場無料

ATELIER MUJI GINZA

後援 ヴィラ九条山



リサーチ! プロセスを魅せるデザイン展
 Research! Design with Fascinating Processes
 2022. 7. 1 (Fri) — 8. 28 (Sun) 11:00 — 21:00

ATELIER MUJI | GINZA Gallery 1・Gallery 2

Found MUJI は、「つくる」ではなく「探す、見つけ出す」無印良品です。これまで30を超える国や地域を旅し、その土地々々の文化や習慣が色濃く反映された日用品を探してきました。地域特有の食材を使った料理、その料理をつくるための道具、その土地で取れた植物で染められた服など、どれも日常生活のものなのです。私たちが日常当たり前にしていることや何も意識しないまま使っているものは、異なる土地の人から見れば新鮮に映ることがあります。一方で、遠く離れた地で私たちの風習に近い事物に触れることも、またあります。真新しい心持ちで改めて周りを見てみましょう。

Found MUJI では、「探す、見つけ出す」ときに大切にしている言葉があります。

簡素が豪華に引け目を感じることなく、その簡素の中に秘めた知性なり感性なりがむしろ誇りに思える世界、そういった価値体系を拓めることができれば、少ない資源で生活を豊かにすることができる。

田中一光

何か新しいものを初めて見つけることではなく、古いもの、古くから知られていたもの、あるいは誰の目にもふれていては見逃されていたものを新しいもののように見出すことが、真に独創的なことである。

フリードリヒ・ニーチェ

今回、無印良品銀座の店内様々な場所で、Found MUJI が探してきたアイテムを販売いたします。館内をあちこちを巡り、あなたにとってのFound MUJI を探してみませんか。

2022.9.9 fri — 11.27 sun
*上記期間内で企画ごとに開催期間が異なります。

11:00 — 21:00
営業時間は変更となる場合がございます。
 無印良品 銀座の公式サイトをご確認ください。

6F 探す無印良品 これから

5F インドの布 天然素材のかご

4F My Found MUJI TOKYO / 常滑

3F 身体を整える / 奈良の靴下 / BOX

2F インドの手織り

1F Local drinks

B1F Local dishes

無印良品 銀座 公式サイト | <https://shop.muji.com/jp/ginza/>
 無印良品 銀座 〒104-0061 東京都中央区銀座3-3-5

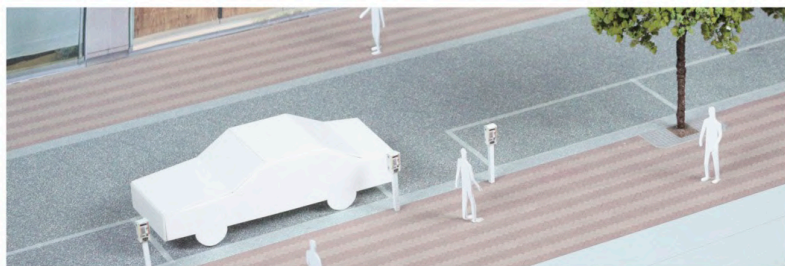


探す 無印良品

無印良品 銀座
 全フロア各所にて販売

主催：株式会社良品計画
 企画協力：南雲浩二郎 / 須藤玲子 / 作原文子 / 株式会社にしき食品
 グラフィックデザイン：株式会社 SARAVAH design
 施工：HIGURE 17-15 cas 企画・運営：株式会社良品計画

MUJI for Public Space 展



街をもっと楽しむための100のアイデア

2022.12.2 Fri - 2023.1.29 Sun

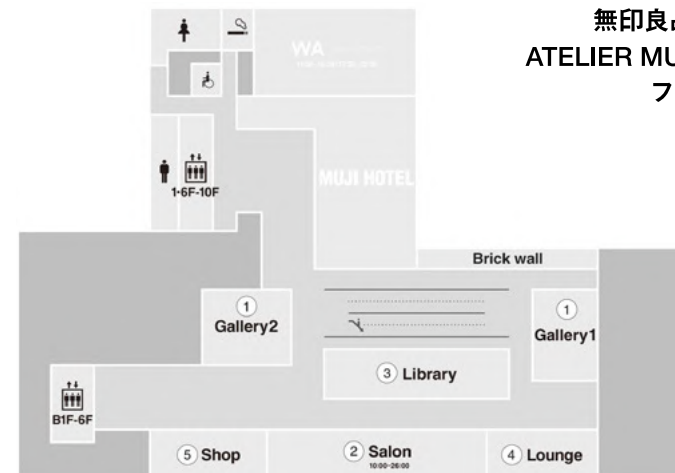
MUJI GINZA 6F ATELIER MUJI GINZA

Gallery1・2 入場無料

*休日は、店舗に準じます。
*会期や時間などの予定変更、またはイベント等によって展示品の一部がご覧いただけない日時が発生する場合がございます。

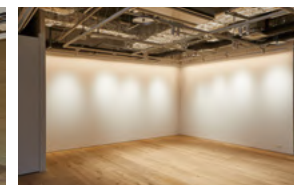


無印良品 銀座 6F
ATELIER MUJI GINZA
フロアマップ



① Gallery

ものづくりやデザインにまつわる展示を行う2つの展示空間「Gallery1」、「Gallery2」。この2つのGalleryはそれぞれ年に3回から4回ほど企画を変えながら、ものづくりやデザインにまつわる展覧会を開催。展覧会を通じて、多様な意見や価値観を共有し、行動することによってつくられる未来を考えていきます。



② Salon

大きな木のバーカウンターと、ゆったりとくつろげるテーブル席が並ぶ「Salon」。厳選された生産者や作り手によるコーヒーや紅茶、日本茶、また、ここでしか味わえない甘味やカクテルとともに、落ち着いたひとときをお過ごしいただけます。



③ Library

「ATELIER」や「Book Design」などのA～Zまでのキーワードをもとに選書された、デザインにまつわる書籍をご覧いただける蔵書スペースです。



④ Lounge

様々なイベントを開催する「Lounge」。展覧会にまつわるトークやワークショップ、多様なイベントを通して人とことを繋いでゆきます。



⑤ Shop

展覧会に関連したアイテムやSalonで提供している食品や器などを一部販売しています。POP UP WINDOWでは、展覧会の企画に合わせたセレクトの商品などを販売します。

ATELIER MUJI GINZA Archive 2022

主催：株式会社良品計画

企画・運営：株式会社良品計画 企画デザイン室・無印良品 銀座 ATELIER MUJI GINZA

ATELIER MUJI GINZA チーム：大島忠智、田代かおる、永田貴大、片岡義弘、原田陽子、槇山由香、遠藤紗和見、平松真由子、三浦彰子、島田果奈、前田泰彰、宮本明日香、小根山悠里香、宮城薫

会場撮影：尾原深水

所在地：無印良品 銀座 ATELIER MUJI GINZA

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-3-5 無印良品 銀座 6F

ATELIER MUJI GINZA 公式ウェブサイト：<https://atelier.muji.com/jp>

Twitter: @ateliermuji

Instagram: @ateliermuji_ginza

本年報の作成にあたり、ご協力及びご助言いただきましたみなさまに感謝申し上げます。

発行日：2023年8月1日

発行元：株式会社良品計画

〒170-8424 東京都豊島区東池袋 4丁目 26 番 3 号

発行者：株式会社良品計画 営業本部ディレクション部ディレクション課

* 掲載している方の略歴は開催当時のものを掲載しています。